

令和7年(2025年)度事業報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日



令和7年(2025年)度事業の概要を下記のとおり報告する。

1. 会員の状況

2026年3月31日現在

会員の種類	期首	入会	退会	現在
正会員	24	1	2	23
賛助会員	47	3	3	47
計	71	4	5	70

入退会内訳

正会員

【入会】(1社) 日本興業(株)〈賛助会員より移行〉

【退会】(2社) 日本インシーク(株)、帝人(株)

賛助会員

【入会】(3社) 岡三リビック(株)、泰成興業(株)、ガラス発泡資材事業協同組合

【退会】(3社) 日本興業(株)、大成ロテック(株)、古河産業(株)

※4/1付けにて、(株)タイガーチヨダマテリアルが入会

(3/23 第50回理事会承認)

2. 社員総会、理事会等の開催

(1) 社員総会

・第 14 回定時社員総会

開催日：2025 年 5 月 30 日 ベルサール神保町 3F ROOM1

正会員総数：24 定足数：13

出席等 出席会員数：20 議決権行使：2 委任状：2

議事（決議事項）

第 1 号議案 「令和 6 年度事業報告」承認の件

第 2 号議案 「令和 6 年計算書類及び財産目録」承認の件

第 3 号議案 「令和 7 年度役員報酬」承認の件

第 4 号議案 「会費改定」の件

（報告事項－第 46 回理事会決議事項）

令和 7 年度事業計画書報告の件

令和 7 年度収支予算書報告の件

その他

- ・雨水貯留浸透技術評価認定の見直しについて
- ・新公益法人制度について

◇決議事項 4 議案については、審議の結果事務局原案のとおり可決承認された。

(2) 理事会等

・社内監査（2025 年 4 月 30 日）

監事 2 名による、令和 6 年度の収支および財産の状況並びに理事の業務執行状況について監査が行われ、いずれも適正であるとの承認を受けた。

・第 47 回理事会（2025 年 5 月 13 日）

上記理事会を決議の省略（書面決議）により開催し、入会伺い（2 件：日本興業、泰成興業）および第 14 回定時社員総会への提出議案である「令和 6 年度事業報告および決算関係書類」「第 14 回定時社員総会における書面での議決権行使」について審議を行い、いずれも事務局原案通り全員一致で承認された。

・内閣府定期提出書類等の提出

- ・令和 6 年度事業報告等関係書類（2025 年 6 月 24 日）
- ・令和 8 年度事業計画、収支予算（2026 年 3 月 31 日）

・第 48 回理事会（2025 年 7 月 22 日）

上記理事会を決議の省略（書面決議）により開催し、入会伺い（1 件：ガラス発泡資材事業協同組合）の審議を行い、事務局原案通り全員一致で承認された。

・第49回理事会

開催日：2025年10月30日 場所：雨水協会会議室
理事総数10名 定足数：5名 出席理事数8名 出席監事2名
議案（決議事項）

第1号議案『下期 役員報酬額承認』の件
（報告事項）

- ① 役職理事の職務執行状況報告
- ② 第41回技術講習会の開催について
- ③ 技術評価認定制度の見直しについて

◇決議事項1議案については、審議の結果、事務局原案のとおり承認された。

・第50回理事会

開催日：2026年3月23日 場所：雨水協会会議室 Web併用
理事総数10名 定足数：5名 出席理事数9名 出席監事2名
議案（決議事項）

第1号議案 『入会伺い』（賛助会員）の件
第2号議案 『令和8年度事業計画及び収支予算書等承認』の件
第3号議案 『令和8年役員報酬案承認』の件
第4号議案 『第15回定時社員総会の日時及開催場所並びに目的事項等』の件
（報告事項）

- ① 役職理事の職務執行状況報告
- ② 令和7年度決算見込みについて

◇決議事項4議案については、審議の結果、第1号議案については入会承認、
その他の議案については事務局原案のとおり承認された。

（3）常設委員会等 （ ）内は開催回数と開催日

- ① 企画委員会 委員長：日本工営（株） 内山雄介
（7回：【第28～34回】5/14, 6/11, 7/9, 9/10, 10/8, 1/14, 2/18） 対面・Web併用
- ② 技術評価認定委員会 委員長：群馬大学 大学院理工学府 教授 若井明彦
（4回：8/5, 10/29, 12/9, 2/24）
- ③ 編集委員会 委員長：芝浦工業大学 教授 宮本仁志
（4回：【第154～157回】6/2, 9/16, 12/15, 3/2） 対面・Web併用
- ④ プラスチック製地下貯留浸透施設普及部会
（2回：7/1, 11/7） 対面・Web併用
- ⑤ グリーンインフラ（GI）を考える勉強会 座長：物林（株） 勝田幸仁朗
（9回：【第33～41回】4/22, 6/18, 7/28, 8/25, 9/29, 12/16, 1/20, 2/25, 3/26） 対面・Web併用
- ⑥ 調整池イノベーションエコシステム(RPIE)研究会 座長：日本工営（株） 松田貞則
（10回：【第19～28回】4/21, 5/28, 6/23, 7/28, 8/25, 9/29, 11/25, 12/25, 2/27 見学会：1/16） 対面・Web併用

3. 調査、研究、開発

(1) (都市河川流域の) 水循環系健全化方策の検討

① 新たな製品、構造物およびシステムの開発と実用化

- ・川崎市王禅寺ふるさと公園において、踏圧下にある表層の浸透能を維持させる
土壌改善方法の実証試験を実施中 (4/3, 5/15, 8/27, 12/25, 1/21, 2/26)

【(公財) 都市緑化機構 G B M 共同研究会】

② できる限り自然を活かした効果的な方策 (緑地の持つ保水機能評価)

- ・グリーンインフラを考える勉強会 (9 回開催)
- ・東京都あまみずグリーンインフラ検討委員会 (5/13, 12/11, 2/3)
- ・緑地の表層浸透能の簡易測定方法の検討 (8/27, 12/25, 2/26)
- ・グリーンインフラ施設における雨水流出抑制機能の定量評価に関する資料整理
(受託: 日本下水道推進機構、9/30 完了)

③ 雨水の水質制御

活動なし

(2) 雨水貯留浸透施設の効果評価の検討

① 開発地域の特性に見合った適切な貯留浸透施設の計画設計の検討

- ・次期中間処理施設整備事業 地域振興施設 土木基本設計・土木実施設計に係る
雨水貯留浸透施設設計の技術監修の検討

(受託: 印西地区環境整備事業組合、工期: 令和7年11月~令和8年6月)

- ・既設工場の雨水浸透処理の見直し (会員への技術指導)
- ・八王子福祉園における雨水浸透処理計画 (会員への技術指導)
- ・メガソーラー建設地の流出抑制アドバイザー業務 (会員への技術指導)
- ・農業ハウス建設に伴う雨水流出抑制のためのオリフィス枘の基本設計

(受託: 会員外企業)

- ・校庭貯留浸透施設排水調査 (会員への技術指導)

② 流域、都市、開発地域等での効果について、解析的な評価手法や簡便な評価 手法を適用した検討

- ・観測水位から算定される浸透能力係数を用いた年間浸透量の算定法の開発

(受託: 会員外企業)

- ・算定手法の違いによる年間浸透量の比較および浸透促進を考慮した既設貯留浸透
施設の放流方法に関する最終仕様の検討

(受託: 会員外企業)

- ・オンサイトでの貯留浸透効果を考慮した調整池容量計算ソフトの検討

(自主事業)

③ 現地浸透能力調査

- ・大熱海国際ゴルフクラブ (受託: 会員企業 4/7 完了)
- ・現地浸透試験に関する見積もり対応

※現地浸透試験の実施に対する資格について問い合わせあり ▶次年度企画委員会テーマへ

(3) 全国における貯留浸透施設普及状況の実態把握と普及方策の検討

① 雨水・再生水利用施設データマップの維持・管理

活動なし

② 普及を促進するための仕組み検討

活動なし

その他

プラスチックおよびコンクリート製地下貯留槽の施工実績調査の実施

2024 年度実績

貯留槽：1,280 件 448,230.0 m³

浸透槽：4,045 件 496,320.1 m³

貯留浸透槽：3 件 738.0 m³

○調査結果詳細については、ホームページで公開

(4) 雨水貯留浸透技術のアジアモンスーン地域への展開検討

① JICA「民間企業海外展開支援事業」

- ・インドネシア国雨水による浸水被害軽減のためのポーラスコンクリート製品導入に係るビジネス化実証事業（受託：会員企業 技術支援）

第5回渡航（5/20～28）、第6回渡航（9/2～12）、第7回渡航：成果発表セミナー（11/16～20）

調査完了報告会（12/23）

② 経済産業省「グローバルサウス未来志向型共創事業」

- ・モンゴル国雨水による浸水被害軽減のためのポーラスコンクリート製品導入に係る実証事業（会員企業 技術支援）

第1回渡航（10/19～10/23）、中間報告会（10/31, 3/6）

4. 雨水貯留浸透技術を活用した施設に関する技術的基準の作成

(1) 新たな製品・工法・システム等(技術評価を取得した類似製品および工法など)に関する技術指針・マニュアル等の整備を行う。

① プラスチック製地下貯留浸透施設普及部会

- ・令和6年度実績報告、技術評価認定制度の見直し、プラ技術指針改訂に伴う耐震解析の実施について（7/1）
- ・指針改訂に伴うプラスチック製貯留構造体の耐震解析の進捗報告、技術評価認定制度の見直しについて進捗報告（11/7）

② グリーンインフラを考える勉強会の運営

- ・勉強会を9回開催、GI産業展（1/28～1/30）へ出展。

③ 調整池イノベーションエコシステム (RPIE) 研究会

- ・研究会を 10 回開催（1 回は見学会）
- ・横浜市の既存調整池の上部利用を検討している企業ヒアリング（5/14）
- ・自治体の覆蓋の事例や意識調査のためのアンケート実施
- ・上記アンケート結果や調整池放流調整装置とその方法（特許出願済）について、国土交通省治水課（5/7, 6/30）、京浜河川事務所（7/29）、川崎市（7/11, 7/31）、横浜市（8/7）と意見交換
- ・具体的な検討を進める候補地（既存調整池）の選定と資料収集、自治体の覆蓋の事例や意識調査のためのアンケートを実施
- ・町田市へ調整池の有効活用に関するヒアリングを行うとともに、あざみ野三規庭など覆蓋された地下調整池の見学会を開催した。（1/16）

④ 調整池放流調整装置の開発研究会（仮称）

- ・上記研究会の分科会として発足
- ・流入部から放流部（オリフィス）までの流動経路をピット方式（立上げ型・掘り込み型）とすることにより、降雨初期段階から放流量を増加させ、調整池の必要調整容量の低減を図る方法に関し、計算ソフトの作成並びに特許出願を検討。

以下については、人員不足により、未発足および活動中断とした。

[未発足] 治水に貢献できる雨水利用を考える勉強会（仮称）

[活動中断] ・雨水の貯留・浸透・利用・蒸発散に関連製品の総合カタログの策定

・ポーラスコンクリートに関する研究会発足

5. 雨水貯留浸透技術の普及啓発活動

（1）図書等の発行・頒布

① 機関誌「水循環 貯留と浸透」 第 132 号～134 号

特集テーマ

135 号「水をめぐるヒト・モノ・カネ～人の絆と雨水～」（6/30 発刊）

136 号「水をめぐるヒト・モノ・カネ～技術の変遷 これから」（9/30 発刊）

137 号「水をめぐるヒト・モノ・カネ～水に係る制度とコスト～」（1/13 発刊）

② 雨水浸透施設技術指針等発行図書の頒布

頒布数：14 種 計 623 冊（前年比 92.0%）頒布先延べ数：364 件（前年比 95.0%）

③ 機関紙の電子化・Web 公開

「雨水技術資料」および「水循環 貯留と浸透」のバックナンバーをホームページ上で無料公開（3 月 31 日現在登録数：611 アカウント、昨年度より 128 アカウント増）

④ 雨水貯留浸透技術評価認定技術の PR

・PR 動画等の公開：HP の「雨水貯留浸透技術評価認定取得技術（工法）・製品の検索」で Web 閲覧

(2) 技術講習会・施設見学会の開催

第41回 雨水貯留浸透技術講習会

テーマ：貯留浸透施設による流域対策の最前線

開催日時：2025年11月14日 13:00～17:30 開催方式：対面開催

開催場所：ベルサール神保町 Room 3+4+5 参加者数：130名（講演者含む）

※土木学会継続教育（CPD）プログラム認定講習会

題 目	講 師
河川行政に関する最近の話題	国土交通省 水管理・国土保全局 治水課 調査係長 内屋 雅人
国土交通省における下水道による 浸水対策について	国土交通省 水管理・国土保全局 上下水道審議官グループ 大臣官房参事官(上下水道技術)付 水害対策係長 長谷川 智明
稲荷川流域水害対策計画	鹿児島県 土木部 河川課 治水係長 内藤 哉良
江の川『治水とまちづくりの連携計画』と 防災集団移転の事例紹介	独立行政法人都市再生機構 災害対応支援部 調整役 重田 猛
雨水流出抑制施設の設置指導の実態紹介	川崎市 建設緑政局 道路河川整備部 河川課 主任 姫野 覚哉
千葉県茂原市における 流域治水(内水)の取り組みについて	茂原市 都市建設部 土木建設課 流域治水対策室 室長 渡邊 誠剛
兵庫県における流域対策の取り組み	兵庫県 土木部 総合治水課 課長 中田 和秀
豊田市における 流域貯留施設整備事業の取り組み	豊田市 建設部 河川課 計画環境担当 担当長 久保 剛 " " " 建設管理第2担当 担当長 木内 赳史
高地下水位場所における 浸透施設設置に関する考察～八王子市調査報告～	元八王子市 下水道部長 株式会社セリオス 執行役員 茂木 和憲
グリーンインフラの課題定義と 南町田グランベリーパークでの効果検証	東急建設株式会社 土木事業本部 技術統括部 環境技術部 環境保全グループ 宇田川 湧人
調整池イノベーションエコシステム研究会の活動 ～自治体が抱える課題と提案の方向性～	雨水貯留浸透技術協会 調整池イノベーションエコシステム研究会 幹事 日本工営株式会社 流域水管理事業本部 松田 貞則
貯留浸透技術に関する問合せへの対応 ～チャットボットの導入検討と最近の問合せ事例～	雨水貯留浸透技術協会 企画副委員長 積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー 管材土木営業部 有山 裕介

◇『見学会』は未実施

※今回の技術講習会は、例年の国土交通省、自治体の講演に加え、会員企業の技術や製品、活動等を展示できる「展示ブース」を設けた。(出展：7社)

(3) 普及・啓発のための雨水貯留浸透施設の展示・セミナーの開催等

* ARSIT Learning Salon 連続講座

「敷地における雨水流出抑制計画～文系でも判る水文設計入門～」と題し、
受講者 13 名に対し 5 回の連続講座を行った。(7/15, 7/22, 7/29, 8/5, 8/20)

* あまみず交流会

企画委員会の発案により、会員の多様性を強みとし、個々の企業では得られなかった新たなニーズや人脈、情報を発掘し、雨水ビジネスの発展、新規顧客開拓、会員間での協働ビジネスにつなげていくための、気軽な情報・意見交換（サロン）の場として「あまみず交流会」を定期開催（毎月第二水曜日）。

回/参加人数	開催	話題提供ほか	
二十九雨 (15名)	4/9	カーボンニュートラルの実現を目指す 低炭素型コンクリート製品	共和 コンクリート工業
三十雨 (24名)	5/14	武蔵野台地における「雨にわ」による NbS の普及・実証事業	雨水まちづくり サポート
三十一雨 (17名)	7/9	高機能プラスチックの可能性	帝人
三十二雨 (17名)	9/10	「仮）女性の会・若手の会」準備会	企画委員会 女性・若手
三十三雨 (9名)	10/8	The Secret Night グリーンインフラってなんだろう	参加者全員による フリートーク
三十四雨 (24名)	12/10	みんなに知って欲しい調整池のこと	三井共同建設 コンサルタント
三十五雨 (15名)	1/14	水災害リスクマッピングシステム RisKma の紹介	建設技術研究所
三十六雨 (16名)	2/18	雨水貯留浸透FAQ －最近の問合せと解説－	雨水協会
三十七雨 (14名)	3/11	地球動物園 ～廃棄物で緑化～	東急建設

* 第4回グリーンインフラ産業展への出展

1/28～30 に東京ビッグサイトで開催された上記展示会へ、グリーンインフラ(GI)を考える勉強会として出展し、GIに関する情報交換、雨水の貯留浸透に関する技術等についてPRを行った。

(4) 雨水貯留浸透技術に関するPRおよびパンフレットの作成・配布

- レバレジーズ(株)が運営する就職支援サービスのwebサイト【ハタラクティブ】にて、都市の治水と水循環改善のために雨水貯留浸透技術の活用と普及・啓発を進めている団体として紹介(6/16)
- 月刊下水道2025年6月号特集「浸水対策のBefore & After」に「公共施設や民間施設における雨水貯留や浸透に関する取組み」を寄稿
- 第4回グリーンインフラ産業展(1/28～30)での資料配布

(5) 雨水貯留浸透技術に関する問い合わせへの対応

国、自治体、企業、コンサルタント、個人等からの電話、メール等による問い合わせ、相談等に対応した。

- * 流出抑制施設の基本設計・実施設計に係る技術監修業務参考見積作成
(印西クリーンセンター次期施設推進室 6/27)
- * 流域貯留浸透設計業務参考見積作成 (船橋市河川整備課 8/26)
- * 韓国環境公団から水環境分野における国際協力に関する覚書 (MOU) の締結依頼
→ 協会の事業活動と方向性が異なったため、非締結
- * 国土技術政策総合研究所が実施している「水関連情報の提供によるデジタルインフラの立地支援可能性研究」の一環で、データセンターでの流出抑制や冷却のための雨水利用に関する意見交換 (1/8)
- * 韓国都市緑化 (株) からの雨水の貯留・浸透・蒸発散・温度低減効果に関する日本国内の研究事例の照会

◎ 雨水貯留浸透技術に関するチャットボット導入検討

資料特化型生成 AI チャットボットの試行的開設を行い、企画委員、会員でのモニタリングを実施、使用感等のアンケートを実施した。

※ 令和 8 年度内に、運用開始を予定

(6) 雨水貯留浸透技術に関する社外講演および学会発表 (海外含む)

① 市民団体や関係機関等の依頼による講演活動

- * 全国建設研修センター宅地造成技術講習講師派遣
: 「宅地造成と雨水流出抑制」 (7/7)
- * 板橋区立高島第五小学校出前講座
6 年生 33 名に「雨について考えてみよう～流せば洪水、溜めれば資源」と題し、講話と水の飲み比べを行った。 (7/15)
- * Springer 社 から刊行予定の学術書『Sustainable Rainwater Harvesting Systems: Innovations and Challenges』に掲載される「Rainwater Harvesting and Management in Central Tokyo (東京都心における雨水の収集と管理)」の章のうち、Flood control (治水) を扱う節で、当協会が取り組む雨水貯留浸透技術を紹介。

② 海外国際会議等での発表

実施なし

(7) 雨水貯留浸透技術のデータベースの作成および情報提供

令和 6 年 (2024 年) 度地下雨水貯留浸透施設施工実績を調査、調査結果をホームページにて公開

貯留槽 : 1,280 件 448,230.0 m³

浸透槽 : 4,045 件 496,320.1 m³

貯留浸透槽 : 3 件 738.0 m³

6. 雨水貯留浸透技術評価認定

(1) 技術評価の実施（新規・更新）の実施

平成8年6月1日に雨水貯留浸透技術評価認定制度がスタートし、昨年度までに技術評価認定49件、OEM版3件、製品評価認定29件、技術推薦6件を実施した。

今年度の状況は、下記のとおりである。

【令和7年度評価認定書交付状況等】

*技術評価認定

新規 審査中：7件
変更・追加 審査中：1件

*製品評価認定

新規 雨庭用ガラス発泡リサイクル資材スーパーソル ガラス発泡資材事業協同組合

*その他

有効期間満了に伴う認定更新

○技術評価認定：2件

ミニゲート工法

ミニゲート研究会

E G S M工法

スピーダーレンタル

○製品評価認定：7件

除塵管理柵

トーテツ

パネケーブ沈砂槽

エバタ

2重管JSドレインプラス

サムシング・城東リプロン

れいんクル

ベルテクス

もやいドレイン

吉原化工・泰成興業

ハイドロスタッフ工法 越流柵(オフィス柵)

城東リプロン

ボストンファームⅡ

インターファーム

プラ指針改訂に伴う認定期間延長5件

ハイドロスタッフ工法

城東リプロン

U S Tシステム (ハイドロ型)

物 林

シンシンブロック槽

シンシンブロック

プラダム工法

秩父ケミカル

アクアパレス工法

トーテツ

認定抹消

技評37号 エコロブロック Biz 工法

(2) 技術評価認定制度の見直し、工法・製品に係る実施要項の統一化他の検討

事務局内で、見直しのポイントを下記のとおり整理した。

- ①手続きの明確化（標準フロー：事前相談、受付期間）
- ②費用の見直し（標準フローの場合や該当しない場合）
- ③認定の種別（工法・製品・OEM、基準達成型・目標達成型）
- ④認定取得者の責務（年次報告・不具合報告は更新のためには必須）

7. 雨水貯留浸透技術に関する関係機関への協力、提言等

① 公共機関への協力提言等

* グリーンインフラ（GI）官民連携プラットフォームへの協力

- ・ 運営委員会への委員派遣
- ・ 技術部会への委員派遣
- ・ グリーンインフラ産業展実行委員会への委員派遣

* 水循環アドバイザーの派遣

なごや水の環復活推進懇談会（【第 20 回】 8/22, 【第 21 回】 3/27）

* 空気調和・衛生工学会 委員会への参画

「建物における水循環を促進する ZWB の評価方法」検討委員会

(7/3, 11/19, 12/1, 2/4, 3/9)

② 海外からの調査団等の受け入れ、国際交流等

* 韓国水技術認証院（KWTC）水循環品質認証チームへの対応

韓国水技術認証院の担当者 2 名が、来協し日本と韓国における認証制度について意見交換（7/29）

③ 外部組織との連携による普及・調査研究業務の実施

* 都市緑化機構の「グリーンビジネスマネジメント共同研究会」への参画

- ・ 川崎市王禅寺ふるさと公園において、踏圧下にある表層の浸透能を維持させる土壌改善方法の実証試験を実施中（4/3, 5/15, 8/27, 12/25, 1/21, 2/26）
- ・ 緑地の表層浸透能の簡易測定方法の検討

* 雨水ネットワーク運営への協力

- ・ 全国大会実行委員会等打ち合わせ（5/8, 5/12, 7/10, 8/4, 8/21）
- ・ 第 15 回雨水ネットワーク全国大会「水の環フォーラム in 神戸」（9/6, 9/7）
- ・ 次年度活動に向けて打ち合わせ（11/17, 12/11）

8. その他協会の目的を達成するために必要な事業

特になし

以上

※令和 7 年(2025 年)度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定される附属明細書について、「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので作成しておりません。